

◎ポラス、埼玉高速鉄道沿線でマンション
―戸塚安行駅前200戸規模など発売へ―

ポラスグループの中央住宅が、埼玉高速鉄道沿線でファミリー向け分譲マンション開発に力を入れている。戸塚安行駅徒歩2分には同社グループで過去最大規模となる200戸のマンションを建設し、近くモデルルームをオープン。6月下旬から販売を開始する。鳩ヶ谷駅徒歩5分でも146戸の販売を近く始める。

埼玉高速鉄道は開業から15年が経過。東京メトロ南北線への乗り入れで都心へ直接アクセスできる点が改めて評価され、最近、マンション開発が目立ってきた。中央住宅は「ルピアコート川口戸塚」として200戸の分譲マンションを売り出す。駅前の土地区画整理事業で生まれた区画に地上8階建て、延床面積1万7469㎡の建物を来年2月に竣工させる。専有面積は61・21㍓73・28㎡、間取りは3LDK㍓4LDK。大規模マンションの利点を活かし、ゲストルームやパティールーム、スタディールームなどを設け共用部を充実させる。近隣には人気の公立小中学校があり、教育に適した立地も子育て世代に訴求していく。所在地は埼玉県川口市石神西立野土地区画整理事業地内。

一方、先行している鳩ヶ谷駅徒歩5分の「ルピアコート鳩ヶ谷本町」は、4月下旬にモデルルームをオープンさせ、今月中旬から販売を開始する。全戸南東向きで、開けた眺望が特徴。14タイプの多彩な間取りを用意した。地上14階建てで、17年10月に竣工する。同社初の共同事業案件で、アートランド(株)と組んだプロジェクト。専有面積は63・85㍓89・85㎡、間取りは2LDK㍓4LDK。販売価格は2600万㍓4600万円、最多価格帯は3500万円台。平均坪単価は160万円の模様。所在地は川口市鳩ヶ谷本町1。